

AA544F

XP-002181610

AN - 1987-230747 [33]

A - [001] 014 04- 041 046 047 141 252 253 373 381 435 525 540 55& 58& 609
62- 623 624 645 664 665 688 720 721

AP - JP19850297797 19851226

CPY - NIEB-N

DC - A96 B07 P32

DR - 0401-U 0557-U 0558-U 1841-U 2035-U

FS - CPI;GMPI

IC - A61F7/08 ; A61K9/70

KS - 0231 0239 1283 1982 2513 2675 2682 2733 2766 2769 2776 2820 3256 3286

MC - A12-V B04-A07F2 B04-B01C B10-E04A B10-F02 B12-M01B

M1 - [04] M423 M431 M782 M903 P820 R012 V797; 8714-0 1286-M
- [05] M423 M431 M782 M903 P820 R012 V400 V406 V780; 8714-0 1286-M
- [07] H1 H100 H181 J0 J014 J1 J171 J3 J373 M280 M314 M315 M316 M323
M332 M342 M381 M382 M383 M393 M423 M431 M510 M520 M530 M540 M620 M782
M903 M904 M910 V0 V743; R02035-M; 8714-0 1286-M
- [08] H7 H721 M210 M212 M320 M423 M431 M510 M520 M530 M540 M610 M782
M903 M904 M910 V0 V743; R01841-M; 8714-0 1286-M

M2 - [01] G036 G563 H4 H401 H461 H8 M210 M211 M213 M232 M240 M282 M320 M415
M431 M510 M520 M530 M541 M782 M903 M904 M910 P820 R012; R00557-M;
8714-0 1286-M
- [02] G031 G034 G038 G060 G623 J5 J561 M210 M211 M240 M283 M320 M415
M431 M510 M520 M530 M541 M782 M903 M904 M910 P820 R012; R00401-M;
8714-0 1286-M
- [03] G015 G100 H4 H401 H441 H8 M210 M211 M213 M232 M240 M282 M320 M414
M431 M510 M520 M531 M540 M782 M903 M904 M910 P820 R012; R00558-M;
8714-0 1286-M

M6 - [06] M903 P820 R012 R111 R252; 8714-0 1286-M

PA - (NIEB-N) JAPAN EBIAN YG

PN - JP62153216 A 19870708 DW198733 002pp

PR - JP19850297797 19851226

XA - C1987-097293

XIC - A61F-007/08 ; A61K-009/70

XP - N1987-172470

AB - J62153216 Aromatic exothermic compsn. is contained in a
gas-penetrating flat bag and is formed by mixing an exothermic
compsn., drug compsn mainly contg. menthol and camphor and aromatics
and filling the bag with the mixt.

- The drug compsn. is menthol, camphor, turpentine oil, eucalyptus oil,
nutmeg extract and thymol. The flat bag is composed of nylon,
polyethylene or non-woven fabric.

- ADVANTAGE - Compsn. is used without applying directly to the skin. In
an example of the compsn. comprises iron filings 27.0-33.0 g, carbon
powder 8.5-10.5 g, cellulose 4.5-5.5 g, resin 0.3-0.5 g, NaCl 2.4-2.8
g, and water 15.5-19.5 g; drug compsn: menthol 2.75 g, camphor 5.0 g,
turpentine oil 5.0 g, eucalyptus oil 1.5 g, nutmeg extract 0.75 g,
thymol 0.25 g. Aromats: menthol, micro capsule of eucalyptus 0.5-1.0
g.(0/0)

AW - POLYETHYLENE@ NYLON

AKW - POLYETHYLENE@ NYLON

CN - R00401-M R00557-M R00558-M R01841-M R02035-M

DRL - 1286-M 8714-0

IW - AROMATIC EXOTHERMIC COMPOSITION CONTAIN BAG APPLY BREAST ACTIVATE BODY
TEMPERATURE

IKW - AROMATIC EXOTHERMIC COMPOSITION CONTAIN BAG APPLY BREAST ACTIVATE BODY
TEMPERATURE

NC - 001

OPD - 1985-12-26

ORD - 1987-07-08

PAW - (NIEB-N) JAPAN EBIAN YG

TI - Aromatic exothermic compsn. contained in bag - for application to the
breast for activation by body temp.

⑯日本国特許庁 (JP) ⑯特許出願公開
⑯公開特許公報 (A) 昭62-153216

⑯Int.Cl. 1
A 61 K 9/70
A 61 F 7/08
A 61 K 9/70

識別記号 334

厅内整理番号 X-6742-4C
6737-4C
Z-6742-4C

⑯公開 昭和62年(1987)7月8日
審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑯発明の名称 芳香性発熱包装体

⑯特願 昭60-297797
⑯出願 昭60(1985)12月26日

⑯発明者 アルベール アルゴー フランス国 78000 ベルサイユ ピリュマンサール
17

⑯出願人 ジャパンエビアン有限
会社 東京都中央区銀座6-6-1

⑯代理人 弁理士 谷山 輝雄 外3名

明細書

1. 発明の名称

芳香性発熱包装体

2. 特許請求に範囲

ガス透過性の偏平状包装袋内に、空気との接触により発熱する発熱組成物と、メントール、ショウノウを主成分とした薬効組成物と、芳香性の香料とを混合充填してなることを特徴とする芳香性発熱包装体

3. 発明の詳細な説明

(発明の利用分野)

本発明は、発熱包装体である所謂使い捨てカイロに薬効成分および芳香性香料を混合充填した包装体に関するものである。

(発明の背景)

従来より、のどあらの消炎、せき止めなどのために、胸部に塗って体温により漸次蒸散されることで人に吸入され、所定の薬効を示すペースト状消炎薬が提供されている。

しかし、このような塗り薬を用いる場合は、ベトつきによる不快感がある他衣類の汚れを招くのみならず、人によっては皮膚に炎症を生じたり、あるいはアレルギー性の症状を呈する場合もあってその改善が望まれていた。

(発明の目的)

本発明は、かかる観点からなされたものであり、その目的は、皮膚に直接塗ることなく前記した薬剤としての効果を得ることができる芳香性発熱包装体を提供するところにある。

(発明の概要)

前記した目的のためになされた本発明による芳香性発熱包装体の特徴は、ガス透過性の偏平状包装袋内に、空気との接触により発熱する発熱組成物と、メントール、ショウノウを主成分とした薬効組成物と、芳香性の香料とを混合充填してなるところにある。

前記構成における発熱組成物としては、市販されている種々のものをそのまま、あるいはこれを適宜調整して用いることができ、具体的に



は例えば、鉄粉、カーボン粉、セルロース、レジン、塩、水等を混合調整した組成物を挙げることができる。これらからなる発熱組成物は、使用的の目的からすると、体温から60℃程度までの温度範囲において長時間の発熱持続性を示すものが好ましく用いられる場合が多い。

また薬効組成物としては、前記メントール、ショウノウの他、例えば、テレピン油、ユーカリ油、ニクズクの実のエキス、西洋スギの葉のエキス、チモール等を用いることができる。

さらに芳香性の香料としては、一般的にはメントール、ユーカリ等の液体、マイクロカプセルが好ましく使用されるが、これと共にあるいはこれの他に、さまざまな種類の香料を加えることができる。

薬効組成物および芳香性香料は、前記発熱組成物に対して適宜の量を添加して用いられるが、一般的には、発熱組成物を含む全量に対して、薬効組成物を20wt%以下、芳香性香料を16wt%以下程度分散含有させることができ、薬

効、香の点で好ましい場合が多い。

ガス透過性の偏平状の袋(内袋袋)は、ナイロン、ポリエチレン、不織紙等を素材として形成することができ、前記混合充填物を充填した包装体はガス非透過性の外袋袋(例えば、ポリプロピレン、エチレンビニルアセテート等)により外袋して搬送、販売される。

(発明の実施例)

以下本発明を実施例に基づいて説明する。

実施例1

下記表1の鉄粉を除いたA群の材料およびB群、C群の材料を回転容器に入れて十分搅拌する。

次いで、シート状の内袋用袋素材と外袋用袋素材をコンベア上に搬送させながら、これらを山形に折曲し、所定位置で前記搅拌混合物次いで鉄粉を添加し、熱シール、裁断を行なって外袋した芳香性発熱包装体を得た。

表 1

A 発 熱 部	鉄粉	27.0~33.0 g
	カーボン粉	8.5~10.5 g
	セルロース	4.5~5.5 g
	レジン	0.3~0.5 g
	塩 NaCl	2.4~2.8 g
	水	15.5~19.5 g
B 薬 効 成 分	メントール	2.75 g
	ショウノウ	5.0 g
	テレピン油	5.0 g
	ユーカリ油	1.5 g
	ニクズクの実のエキス	0.75 g
	西洋スギの葉のエキス	0.75 g
	チモール	0.25 g
C 香 料	メントール ユーカリ のマイクロカプセル	0.5~1.0 g

以上の芳香性発熱包装体を、その外袋袋を除去して胸部の前面に吊持させ一日使用したところ、好ましい芳香が常に感じられたと共に、皮膚には何等の炎症も生ずることがなった。

(発明の効果)

本発明によれば、皮膚に直接塗ることなく前記した薬剤の薬効を得ることができるため、皮膚等の炎症を生ずることが全くなく、またベタつき等の不快感もないという効果があり、さらにまた、発熱の持続性によって長時間にわたり芳香を楽しむこともできるなどの効果もあり、その有用性は大なるものがある。

代理人 谷山輝雄

本多小平

岸田正行

新井興治

